



# 権限が集中することの危険と効用

以前、橋下徹・大阪市長が「独裁が好ましい」というような発言をして、物議をかもしたことがありますよね。

まあ、実際に演説を聞いた限りでは、それほど、目くじらを立てるほどではなかったように思いますが、とかく、こういう物は独り歩きしてしまうもののように……

ただ、それは別にナポレオン三世の統治下でも皇帝独裁の頃が一番、実績が上がったという話があるように「独裁＝悪」というつもりもありません。

権限が一人に集中している方が、正しいかどうかはともかく、結論が出るのは早いわけですから……

無論、問題は「絶対権力は絶対的に腐敗しやすい」という言葉がある通り、当初は理想に燃えて始まった独裁であっても、とかく、時の経過と共に腐敗墮落に陥ってしまう……  
・ということは今日でも世界中の独裁者がその悲惨な末路とともに示してくれているわけで、やはり何らかの自障りな存在というのは必要でしょう。(この点を、私が師と仰ぐ、兵法評論家の大橋武夫氏は「経営者にとって

もっとも嫌なことを言ってくれるのは労組である」と看破しておられましたし、その意味では、野党というのは時の権力にとっては健全性を担保するという意味では無くしてはならない存在なのでしよう。)

実際、ソニー、シャープ、パナソニック……など近年、日本企業が軒並み苦境に陥っている一方でサムスンに代表される韓国企業の躍進……を考えれば、これは、必ずしも円高ばかりが原因ではなく、やはり、意思決定機関の弱体化ということも一因にあるように思います。

ソニーの社長・会長を歴任した出井伸之氏は、「社長だからって大組織は思うようには動かせない……」・ということを言っておられました。が、それはそうなんですよね。松思えば、かつての本田宗一郎、松下幸之助などの創業者は社長であると同時に大株主でもあったわけで、自分が「右」と思えば「右」と出来

たのでしようが、その後の社長となると、他の重役は少なからず、かつてと同僚ということも有り得る話で、なかなか、社長の独断で決裁するというわけにもいかないのでしょう。(トヨタが創業家から未だに社長を出し続けている



# 高級レストランでのマナー

結婚式や食事会、またはプライベートで高級レストランを訪れた時、マナーが気になりますよね。緊張して十分に食事が楽しめないこともしばしば。でも、ある程度の作法を知っておけば、レストランでのマナーを紹介したいと思います。



入店する時や座席に着席する時は、女性側は、ワイニンググラスを持ち上げないようにしましょう。コース料理では、テーブルに沢山のナイフとフォークが並べられています。内側と外側、どちらから使えばいいのかわかりません。基本的には外側から使います。そして右手でナイフ、左手でフォークを持ちます。ただし左利きなら逆

でもかまいません。もし落ちたら、自分で拾わずに、ウェイターに相図して新しい物を持ってきてもらいましょう。スプーンは音を立てないで飲みます。肉をナイフで切る際にも食器の音を立てないようにします。そして、食べるスピードを同席している人に合わせます。皆が食べ終わったら残さなさいけない、と言いつてはありませぬ。食事中にさりげなく相手の皿を観察し、食べる速度を合わせるようにしましょう。

ますね。しかし、マナーというものは絶対的なものではありません。一番大切なのは、その場の雰囲気誰かが食事を楽しめるよう、配慮することが肝心なのです。フードアナリスト 愛川いつき

(表面からの続き)  
なんだかハブル時代に美食グルームが来たのと似ていますね。  
会席料理は「寛政の改革」を行なった松平定信という老中が解任されたあとの文化文政時代に、茶のための懐石料理から、酒や宴会のための会席料理へと分離成立したものです。  
会席料理は本膳料理や懐石料理のように、あまり作法にうるさくないというもので、庶民には入りやすかったのかも知れませんが、会席料理の会席とは俳句や連歌などの寄り合いの席という意味です。識字率が高かった庶民は、農民や商人も俳句や連歌を楽しみ、そして会席料理も楽しんでいたのでした。  
江戸、大阪、京都という都市で流行った料理は、そういった地方や郊外の趣味人たちにも伝わっていったといえます。  
日本の……特に江戸時代の食文化は、支配者階級よりも庶民が大きく発展させた世界的にもめずらしい食文化なのでした。(食文化研究者 巨椋修)

楽しい暮らし 800円  
はがき版ニュースレター  
ネット通販開始  
<http://minne.com/atec>

死せる信玄 生ける勝頼を奔らす (増補版)  
池田平太郎の  
新刊(文庫本!)  
いきなり増刷!  
全国書店で好評発売中!

いること背景がここにあると思います。その為には、社長に就任することが決まった時点で新社長は金融機関から個人的に融資を受けて、自社の新株を必要かつ可能と思われるまで買うことが出来るようにする……というのも一案でしょう。  
無論、買う買わないは個人の自由で良いと思いますが、少なくとも、もう少しトップの任期中は権限と責任を集中させねば、企業としての競争力は保てないように思えてなりません。(小説家 池田平太郎)

おもしろコラム 無料電子書籍 5月編  
<http://p.booklog.jp/book/24802/read>

自動車修理専門書籍の購入は ネットが便利!  
自動車修理専門書店  
TEBRA  
<http://tebra.jp>  
新刊情報はfacebookで  
自動車修理専門書店TEBRA  
ほしい専門書がキット見つかる!

もったいない・安心安全・健康・おいしい・新鮮  
手作り野菜ネット通販  
green-box  
<http://green-box.shop-pro.jp/>  
from izu